議会がチェック!!

9月定例会

9月定例会では26件の議案等を審議しました。
議論した議案等のうち、主なものを紹介します。

条例・推薦　農業委員会に女性農業者の登用・参画を市議会が推進

今回の議会では「農業委員会の委員定数・選挙区等に関する条例」の一部改正を行い、議会が推薦する農業委員会委員の人数を現在の「3名」から1名増やして「4名」とし、農業委員会へ女性農業者が登用・参画できるよう整備しました。この条例の可決を受けて、市議会は新たに女性農業者1名を農業委員会委員として推薦するよう提案し、全員一致で決定しました。

産業委員会での質疑

Q **執行部は新しい女性農業委員に何を期待しているか。**

A 農産物の生産だけではなく、加工や流通・販売への経験や知識を持ち、また生産者と消費者の両方の立場がわかる女性の意見を農業委員会の中へ反映していただけることを期待する。

予算・条例　いじめ問題に対し、市の組織的な対応と対策は？

いじめに関する法律の成立や、津山市いじめ問題対策基本方針の策定を受けて提案された補正予算や条例に対し、議会ではいじめ問題の対応や対策に関する津山市の考え方について質問しました。

総務文教委員会での質疑

Q **いじめ問題に対し、市としてどのように取り組んでいくのか。**

A 国の制度化によって学校現場や教育委員会がいじめ問題に取り組む方向性は、今回の市の基本方針の中にしっかりと盛り込んでいる。また、学校現場でもいじめ問題の主体は子どもに主眼を置くことを忘れず、今後も子どもをいじめから守り、市全体で責任を持って教育に取り組みたい。

条　例　子ども・子育て支援新制度に合わせ、市の支援基準を決定

国の子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、「放課後児童健全育成事業」などの子育て支援施策に関して、津山市の基準を定める3つの条例が提案され、議会で決定しました。

厚生委員会での質疑

Q **放課後児童健全育成事業に関し、児童クラブ間の格差をなくし全体の水準を向上させる必要性を、当局はどのように考えるのか。**

A 条例の制定により、児童クラブに対する市の責任が一層明確になるので、全体の水準向上や格差の是正も含め、さらなる取り組みに努めていきたい。

関連質問　市内にある土砂災害危険区域の周知・啓発の現状は？

広島市で発生した集中豪雨による大規模な土砂災害を受けて、市内にある土砂災害危険箇所をいかに市民に周知・啓発していくか、その重要性について意見が数多く出されました。

建設水道委員会での質疑

Q **市内にある土砂災害危険区域の調査と状況、また住民への周知方法はどうしているのか。**

A 土砂災害危険区域の調査は岡山県が実施。この調査結果に基づき、危険箇所や警戒区域は「ハザードマップ」などへ掲載している。また県の警戒区域の指定のあるなしに関わらず、市内で把握している危険箇所についても、基礎調査の際に地元説明を行うなど、住民へ周知徹底を図っている。